

## 工場や店のデータ 無線で収集、NEC系

2018年1月22日 15:58

NECの機器開発子会社、NECプラットフォームズ（東京・千代田）は22日、工場や小売店であらゆるモノがネットにつながる「IoT」使ってデータを収集する遠隔監視システムで、無線センサーに対応した新製品を発売したと発表した。機械設備にケーブルを接続しなくても無線で集められるため、配線が難しい場所にある設備のデータ収集が容易になり、配線にかかるコストや手間も省ける。

有線で情報収集していた遠隔監視システム「コルソスCSDJ—A」で通報や制御といった機能を無線でも使えるようにした。価格は税別42万8000円。年間2000台の販売を目指す。

従来配線が難しかった場所の設備の稼働状況を監視したり、既設の冷蔵庫や冷凍庫に無線センサーを取り付けて配線工事を省いたりできる。太陽光発電を利用したセンサーや低消費電力のセンサーにも対応できる。システム1台あたり20個のセンサーを接続できる。

従来の「コルソスCSDJ」は必要な様々なソフトや機器をパッケージで提供する。監視レポートを日報や月報、年報としてメールで自動送信するようにできる。現場を回ってデータ履歴を収集する手間を省ける。